

いいやまの



このコーナーは市内の「今、ここが見どころ!!」を紹介するコーナーです。新幹線で訪れた観光客や帰省されたご親類の方々にお伝えいただくのはもちろん、市民の皆さんにも、もう一度飯山の素晴らしいところに気づいていただく情報をお伝えしていきます。

第1回

飯山駅からくり時計のモデル 五東太々神楽



飯山駅のからくり時計

3月14日に開業となった新幹線飯山駅。2階交流センターで時を刻むからくり時計のモデルは太田地区五東「健御名方富命彦神別神社(たけみなかたとみのみことひこかみわけじんじや)」に伝わる五東太々神楽です。

この起源については明らかになっていませんが1674

(延宝2)年から行われてきたとされ、長野県無形民俗文化財の指定を受けています。昭和初期までに21の演目が伝承されていましたが現在では身曾岐(みそぎ)、翁舞(おきなまい)、岩戸開き(いわとびらき)、鈴神楽(すずかぐら)など9つの演目が舞われていて春、秋の2回の祭礼で奉納されます。



身曾岐(みそぎ)



鈴神楽(すずかぐら)



岩戸開き(いわとびらき)

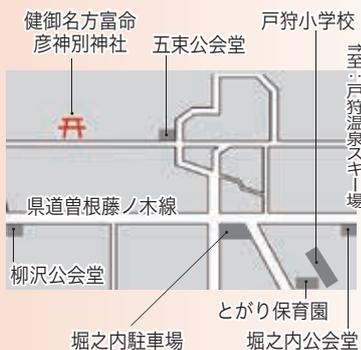


二柱(ふたばしら)

春の祭礼：5月3日(日・祝) 舞い始め14:00頃
秋の祭礼：9月23日(水・祝) 舞い始め14:00頃
場所：太田地区五東「健御名方富命彦神別神社」



翁舞(おきなまい)



この記事のお問い合わせは
庶務課 秘書広報係 ☎62-3111 内線337まで

わが家の人気者



酒井煌虎くん

木島地区
3歳6か月
No.349

姉の瑠愛(るあ)ちゃんと弟の一夢偉(かむい)くん

かくれんぼやごっこ遊び(たかごっこ、おにごっこなど)を楽しんでます。

おうちごっこではパパ役になり、姉がママ役、弟が子ども役で兄弟3人で仲良く遊んでいます。好きな食べ物はリンゴ、ミカン、ブドウで、将来の夢はトッキュウジャーか仮面ライダードライブになることです。

(秀和さん、藍さんの長男)

このコーナーに出てみませんか?
「わが家の人気者」に登場していただける2〜3歳くらいのお子さんとお母さんまたはお父さんを募集しています。市役所庶務課秘書広報係までご連絡を! ☎62-3111 内線337まで

美術館情報

企画展 「Beyond the paper やまふところ 和紙 齋藤一郎展」

現代和紙作家 齋藤一郎氏(岡山地区出身)の作品展「やまふところ」は、山ふところに抱かれて育った雪深い飯山の豊かな自然と、これまでに海外で得た深い知見が作品に反映されていることを表します。ユネスコの無形文化遺産登録を受けて関心が高まる和紙。内山紙の里・飯山から和紙の魅力を全世界へ発信します!



作品名：鉄の太陽

【会期】平成27年4月18日(土)～6月28日(日)まで
【開館】9:00～17:00(入館は16:30まで)
【休館日】毎週月曜日(ただし5/4(月)は開館、5/7(木)は休館)
【入館料】一般300円、小中学生200円 ※市内小中学生は無料
【問合先】飯山市美術館 ☎62-1501

編集後記

今月号は北陸新幹線飯山駅開業特集ということで開業のにぎわいや誘致運動に携わった方々の心境、これからの飯山市の展望などを掲載したところ全体のページ数がこれまでで最高の56ページとなりました。飯山市の歴史的名出来事を刻んだものとして、将来読み返していただける市報になれば嬉しいです。▼「住民大会やリレーマラソンなど住民の熱意ある行動がなければ飯山ルートは実現しなかったのではないかと」とインタビュー記事のお一方、そして開業日当日、駅でコメントいただいた方の中にもそうおっしゃる方が大勢いらっしゃいました。▼改めて、先人の皆様のご苦労に感謝し、住民が結束した力の偉大さを実感しました。▼住民の力で実現した北陸新幹線飯山駅開業。夜遅くまで市役所で仕事をしていると南西に見える新幹線ホームの灯りがとても輝いて見えました。小野沢